

【記入例】 太枠の欄のみ、ご記入ください。消えるペン・スタンプ式印鑑は使用不可。

すべて自筆で
ご記入ください

総合支援資金特例貸付（再貸付）申込書

再貸付

生年月日 フリガナ	昭和・平成 年 月 日
住所	〒
電話番号	固定
自立相談支援機関への相談状況 〔該当する選択肢を○で囲み、日付を記入〕	ア 自立相談支援機関へ相談をしている 相 談 日：令和__年__月__日 イ 自立相談支援機関へ相談をしていない ※申請後、必要に応じて相談をしてください。
貸付金振込先の変更 ※継続送金中の口座変更はできません。貸付金不着の場合は辞退となります	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※変更有の場合は、銀行名、支店、口座番号、名義がわかる預金通帳またはキャッシュカードの写しを添付してください。

ア・イどちらか必ず○で囲んでください。
「イ」で相談予定日が決まっていない場合は日にちの記入は不要です。

借入理由	例) コロナウィルスの影響により、7月に離職。その後、飲食店に再就職したが、今回の緊急事態宣言で休業となり、収入を得られない状況が続いている。
------	-------------------------------------------------------------------------

現在も新型コロナウイルス感染症の影響を受けている状況についてご記入ください。

減少や失業等により生活に困
総合支援資金特例貸付を借り

- 私及び私の世帯は、緊急小口資金及び総合支援資金の特例の借入が終了しています。
- 貸付け後は、早期自立に努めます。
- 私は現在、生活保護を受給していません。
- 私は現在、自己破産の手続きを行っていません。
- 本貸付金を事業の運転資金として使用しません。
- 私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。
- 記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で、第三者に提供することに同意します。
- 私は、貴社会福祉協議会が、貸付けに必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、自治体、公共職業安定所、自立相談支援機関、家計相談支援機関等の関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受けることに同意します。
- 私及び私の世帯の者は、暴力団員ではありません。また、借入期間中においても暴力団員にはなりません。私は、貴社会福祉協議会が必要に応じ官公署等から私又は私の世帯員に係る暴力団員該当性情報の提供を求めることに同意します。
〔暴力団とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第2条第2号にあるとおり、「その団体の構成員（その団体的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長する。）」を指す。〕
- 貸付審査の結果、貸付決定されなかった場合、理由は開示されることに同意します。

自筆のうえ、
押印してください。

令和__年__月__日 借入申込者

